

巻頭言
—変化に対応して—

2021年度より外国語教育メディア学会中部支部外国語教育基礎研究部会(基礎研)の部会長を務めております名古屋大学大学院博士後期課程3年の寺井雅人と申します。2020年度に対面からオンラインでの開催に変更したことで、日本全国から基礎研に参加したいとのお問い合わせが増えました。そのため、2022年度も引き続きオンラインでの開催を実施しました。所属の異なる大学院生や研究者が数多く在籍している本研究会は、外国語教育の中でも規模の大きい研究会の一つであると自負しております。

基礎研では、新しい年度が始まる前に基礎研の運営委員で話し合い年度目標を立てています。2022年度は、1) 所属の異なるメンバー同士で共同研究を行い、その成果を最低1つ公表する、2) 基礎研公式 Twitter (@kisoken_let) のフォロワーを50名増やすという目標を立てました。1つ目の目標に関して、私が把握しているだけでも口頭発表2件および論文投稿2本という成果が得られています。このように、基礎研では所属の異なるメンバーが議論を交わし、活発に研究活動を行っています。また、2つ目の目標に関しても、60名以上の増加となっており(3月21日現在)、基礎研への注目度が次第に高くなっていることが分かります。

2022年10月には名古屋大学大学院人文学研究科英語教育学分野と共同で公開講座をオンラインで開催しました。岐阜市立女子短期大学の小島ますみ先生に「オープンデータを活用して行うメタ分析—あなたもメタアナリスト!—」という表題で講演いただきました。また4代目部会長である三上綾介さんにも「Praatを用いた流暢性指標のコーディングと算出」という表題で講演いただきました。この講座への参加がきっかけで本部会へ参加された方も複数いらっしゃいました。

最後に、私の部会長としての任期が終わりに近づき寂しさを感じている今日この頃です。無事に2年間を終えることができるのも、心優しく研究熱心な基礎研のメンバーと、活動を支援していただいている外国語教育メディア学会中部支部の皆様のおかげです。新型コロナウイルス感染症のような負の影響に振り回されるのではなく、様々な変化に対応しながら柔軟に運営するという目標は達成できたと思います。次期部会長とともにスタートする2023年度の基礎研ですが、引き続き多くの方々と研究の議論が交わせるようなコミュニティとしての役割を果たすため、来年度も変わらず活動を行う所存です。今後とも、皆様のご支援、ご理解を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。2年間ありがとうございました。

寺井 雅人

名古屋大学大学院人文学研究科博士課程後期課程3年
外国語教育メディア学会中部支部外国語教育基礎研究部会部会長